

原油価格と株価、為替相場

—株高、ドル安で油価上昇?—

計量分析ユニット 需給分析・予測グループ リーダー

柳澤 明

要約

原油価格の日々の動向要因として、株価や米ドルの為替相場がしばしば引き合いに出される。一般的に、原油価格と株価は正相関、原油価格と為替相場は逆相関の関係にあり、株高やドル安は原油価格の上昇要因であるとされている。

しかしながら、「見せかけの相関」により、原油価格と株価、為替相場を素朴に眺めるだけでは、これらの関係について誤った結論を導き出してしまう恐れがある。そこで、データ特性の検討を行ったうえで、原油価格、株価、為替相場の間にどのような関係があるのか/ないのか、関係が固定的なのか/変化しているのかを検証した。

その結果、原油価格、株価、為替相場間の因果関係は、時期によりかなり変化していることが示された。2008年においては、ほぼすべての組合せにおいて双方向の因果関係が認められた。一方、2010年においては、言われているような株価、為替相場から原油価格への因果関係は失われている。この因果関係の変化は、市場参加者の構成変化、ファンダメンタルズに基づく将来価格見通しに関する市場の確信度合い、市場のモメンタムやセンチメントなどを背景にしていると考えられる。その他、明らかになった2010年の因果関係の希薄さは、原油市場において他の要因がより着目されつつあることを示唆している。

お問い合わせ: report@tky.ieej.or.jp